

中土佐町教育研究所

研究所だより



師走に入り、寒さも厳しくなってきました。皆様方におかれましては年末の慌ただしい時期をお過ごしのことと存じます。

さて、11月22日に本町を会場に開催されました「令和5年度高知県教育研究所秋季連絡協議会」におきましては、県内各地から多くの関係者のご参加をいただき、無事に終了しました。ありがとうございました。参加をいただいた各研究所の皆様、そして高知県教育センター、心の教育センターの皆様、また、会場をお貸しいただき、授業公開をお引き受けいただきました大野見小学校、大野見中学校の先生方に心より感謝いたします。会の内容については後でも触れますが、会場となることで得るものが大変大きかったと思います。不案内な点や時間設定・内容等、改善の必要な部分はたくさんあったかとは思いますが、今後の連絡協議会の運営に生かしていただけたらと思います。閉会の挨拶でも申し上げましたが、各研究所の設置の状況や環境は本当にそれぞれ異なることが多いと思います。しかし、子どもたちや学校のサポートという点で、共通課題も多いと思います。この秋季大会のような場での課題共有や実践交流は必要であり、できるならば一堂に会しての交流が行えることがありがたいと感じます。

この秋は中土佐町でも町内外のイベント等が復活し、以前より増えたのではないかと感じるくらい多くの催しがありました。コロナ禍の反動もあり、人の動きも明らかに活発になってきたようです。学校現場でも、行事等で忙しかった二学期だったと思います。コロナ禍を経て、再始動となった行事も多くあったと思いますが、運動会の子どもたちの活躍や、文化発表会の生徒の歌声など、復活してよかったと思える場面が多くあった二学期でした。

中土佐検定は2回目の検定を終えて結果が出ました。様々な学習法があり、どれも効果は実証されているとは思いますが、継続して学習を続けることが大切なことは言うまでもありません。中土佐検定の取組方法も学校によって様々ですが、中土佐検定にどういう効果があるのか、なぜ行っているのかをきちんと伝えて取り組むことが意欲の継続につながると思います。「脳を鍛えて心を育む」の視点で取り組んで下さっている学校現場に感謝の思いです。

子どもたちを取り巻く教育環境は、デジタル化によって大きく変わろうとしています。「学習 e ポータル」の構想で、様々な ICT を使った学習用のツールが、子どもや先生や学校・家庭とつながって学習が進んでいくことになるようですが、まだまだ改革は始まったばかりです。

中土佐検定もそういったツールの一つとして、未来へ向けて変わっていく時期になっています。デジタル化によってペーパーの良さも見直されると思います。まだまだ見えないことが多いのが現実です。皆様良いお知恵があればお貸してください。

中土佐町教育研究所 所長 古谷智史

第2回 中土佐検定結果

令和5年度第2回の中土佐検定は、9月に「中学校漢字」、11月に中学校「数学」「英語」、小学校「算数」を実施しました。結果は次の通りです。

小学校 算数

学年	1年生 (17級)	2年生 (14級)	3年生 (11級)	4年生 (8級)	5年生 (5級)	6年生 (2級)	町全体
受検者数	27	37	29	34	25	33	185
平均点	100	96.2	87.9	72.4	83.5	87.3	87.8
合格率(%)	100%	100%	97%	91%	100%	94%	96.8%

中学校 英語

学年	1年生 (8級)	2年生 (5級)	3年生 (2級)	町全体
受検者数	40	33	31	104
平均点	73.2	76.5	88.5	78.8
合格率(%)	85%	73%	94%	84%

学校で検定テキストに取り組んでいる児童の様子



中学校 数学

学年	1年生 (8級)	2年生 (5級)	3年生 (2級)	町全体
受検者数	40	33	31	104
平均点	68.2	74.4	81.4	74.1
合格率(%)	65%	76%	81%	73%

中学校 漢字

学年	1年生 (5級)	2年生 (3級)	3年生 (1級)	町全体
受検者数	41	33	32	106
平均点	72.0	75.3	95.5	80.1
合格率(%)	78%	88%	97%	87%

秋季連絡協議会 公開授業の様子



研究所秋季連絡協議会から

公開授業について

小学校では、複式で学習リーダーを活用した主体的な学びを追及している授業に加え、深い学びへ向かうための指導方法を研究し、特に相手に伝えるための言語活動を意識しているように感じました。

中学校では、落ち着いた環境で少人数の生徒へ丁寧で手厚い指導が行われ、生徒も真剣に取り組んでいる印象を持たれたようでした。

両校とも、行事や他の公開授業、訪問等大変忙しい中での授業公開をしていただきました。ありがとうございました。大変参考になったとの感想が多数ありました。

本所の発表について

研究員から、中土佐検定の意義や実施内容と研究員の研究内容についての発表を行いました。

中土佐検定については、町をあげて統一テキストを作って検定に取り組んでいる点で評価を得たように思います。基礎学力の定着のために実施し、継続していることの重要性を感じたなどの意見をいただきました。脳科学の視点からの説明が中心となりましたが、検定の実施に関しての説明が十分でなかったかもしれません。

研究員はICT活用をテーマに発表を行いました。他市町村の実践の方が進んでいることも多いと思います。環境に依存する面もありますが、今後へ向けてお習いしたいと思います。

所員部会について

限られた時間で熱心な協議が行われていました。日頃各研究所で取り組んでいる実践の情報共有はいくら時間があっても足りないくらいではないでしょうか。

授業づくりの視点でいえば、中土佐検定も授業改善につながるように「間違いランキング」の試みを行っています。各研究所とも現場と悩みを共有しながら支援の工夫をしているようです。

不登校対策について、本研究所では直接取組を行っていませんが、関係機関と連携しながら中土佐検定テキストを活用した支援を考えているところです。また、ICTの活用も今後不登校対応のキーポイントとなっていくように思います。

所長部会について

主に令和6年度春季連絡協議会の実施方法について意見交換が行われました。実施は集合研修の良さもあるという意見も踏まえたうえで検討する、講師は昨年度に引き続き同じ方をお願いする方向となりました。春季連絡協議会は5月22日（水）を予定しています。

また、秋季連絡協議会は、いの町教育研究所の開催で、11月29日（金）に伊野小学校を会場に行われる予定です。（後日の報告書による）

所長部会でも課題の共有や情報交換の時間がとれるとありがたいと思いました。

公開授業・所員部会の様子



輝く中土佐の子どもたち

中土佐町の子どもたちの授業の様子です。参観させていただいた授業で、子どもたちや先生が輝いている姿を掲載することで学校と研究所との取り組みの共通理解を図っています。

☆ 9月20日（水）上ノ加江小学校校内研修

上ノ加江小学校

授業者： 武田 大知 教諭

単元名： 第2学年 算数科「長方形と正方形」

感想： 授業まで時間をかけて準備していたことがよくわかる授業でした。子どもたちへの評価も意識してできていました。ボードに書いた自分の考えを頑張って説明しようとしていたので、児童の満足感につながるいい場面でした。指導案の「学習リーダーを中心に黒板の前で学びあいをする」という場面が複式指導の充実につながる重要ポイントだったと思います。その活動のチャンスがあったのですが、先生の説明を中心にすすんでいったので、指導案作成の際に具体的なイメージをたくさん持っておくことが大切だと感じました。言語活動を活発化し学習リーダーを中心に集団を育てることが今後の複式学習の充実につながると思います。（古谷）



☆ 9月26日（火）大野見中学校授業改善プラン

大野見中学校

授業者： 弘瀬 麻弥 教諭

単元名： 第1学年 国語科「根拠を明確にして書こう」

感想： 生徒一人一人に寄り添った授業でした。板書はもちろん、授業の流れ・発問が細かく計画されていました。生徒たちは、先生の発問に答えていくにつれ、自分の意見を固めていき、その根拠となる部分をみつけ、本時のめあてにたどり着いていたように感じます。生徒一人一人の力を知り、その力が発揮できる環境を作り上げているように感じました。（研究員：福中）



☆ 10月20日（金）久礼中学校授業改善プラン

久礼中学校

授業者： 森 将人 教諭

単元名： 第2学年 数学科「図形の性質と合同」

感想： 導入の「プログル算数」を使った活動では、多角形のプログラミングを体験していました。数学に興味関心を持つきっかけになると感じました。全体に小学校での学習との系統性を意識して指導されている場面が多かったと思います。グループ学習の時間が十分にとられていて、生徒たちはしっかり話し合いが行えたと思いました。グループ学習の支援の際に、教師が前時の板書を印刷したものを準備し、考え方についてのアドバイスができており大変効果的であると思いました。代表どうしの話し合いで発表するグループが決まっていく過程も良かったと思います。前に出て説明した生徒たちは、わかりやすく伝えようと工夫していました。ほかの生徒たちは真剣に説明を聞いていました。生徒の学習活動が多く、日ごろの授業がきちんと計画的に行えていることが良くわかる授業でした。（古谷）



研究所便り 令和5年度 第3号

発行 中土佐町教育研究所

〒789-1301 高知県高岡郡中土佐町久礼 6663-1

TEL 0889-52-2250 FAX 0889-52-2013 発行日 令和5年12月18日